

江戸時代末期の戦略家・山田方谷先生の大ピンチ脱出の戦略対策

ほうこく
セミナーの
CD-R

「なんと162年前の江戸時代末期に弱者の戦略を実践し、
大きな経済的成果を出して大成功した人が岡山県にいた。」

1. 備中高梁の松山藩は表向き5万石であったものの、実際は2万石を下回っていました。藩の年収は約15億円に当たります。ところが藩の重役たちは5万石に相当する運営をしていたので毎年大赤字。この赤字は大阪の金融業者から借入をして補ったために借入金がふくらみ、とうとう借入額は10万両にも達しました。(約100億円) この額は松山藩年収の6.7倍にも達しています。(北海道の夕張市もこれに近い)

2. 養子で新しく藩主になった板倉勝静は、嘉永2年、1849年、農民出身の秀才山田方谷を抜擢し、財務大臣に当たる元締役に取り立てました。山田方谷先生はかねてより考えていた再建策を実行に移し、わずか8年で100億円の借入金を返済したばかりか、100億円の利益を出したのです。山田方谷先生が打った手は、ランチェスター弱者の戦略とまったく同じです。なんと今から162年も前に、弱者の戦略を考え出して実戦した人がいたのです。

3. 不況が長く続いていたところに、東北大震災と福島原子力発電所の事故が重なり、経済界はまさに3重苦。この大ピンチを脱出するのにとても役立つのが、山田方谷先生の戦略対策です。

このたび山田方谷先生のお墓参りをし、ゆかりの地を訪ねたあと現地でのセミナーを実行しました。日頃ランチェスター戦略を研究されている方々には、必ずお役立つものと思っています。

2011年6月25日(日)、岡山県高梁市の記念館で行った2時間の講演を、録音・編集したものです。

付録として、山田方谷先生の生涯と功績を表わした、マンガの本を1冊つけます。岡山県高梁観光協会出版、95頁。



山田方谷セミナーのCD

定価 6,000 円(税別)

CD-R2巻。時間1時間50分。

講演者 竹田陽一

注。講演会会場の音響効果が良くなかったため、録音状態は中程度か、中の下になっています。

申し込みはFAXで

ご住所	〒			従業員	人
会社名	ご氏名		様		
TEL	FAX				

ランチェスター経営(株)

制作 竹田陽一

〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8-301

HPLは <http://www.lanchest.com/>

TEL 092-535-3311

FAX 092-535-3200